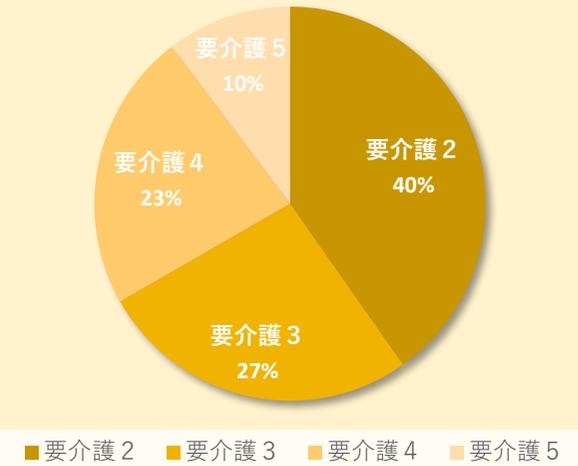


初回要介護2以上介護度別



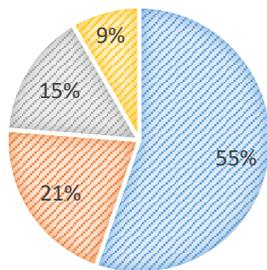
初回の要介護認定で「要介護2」以上の判定を受けたものについては、全体の40%を占めています。

また、病名としては、生活習慣病やこれに起因した重症化疾患が全体の約半数（55%）を占めており、次に多いものとして認知症疾患（21%）となっています。

生活習慣病の中でも、高血圧症が全体の25%、脳血管疾患は24%と高い割合となっています。

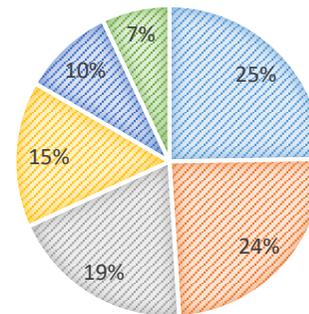
初回要介護2以上疾病傾向

- 生活習慣病、生活習慣病に起因した重症化疾患
- 認知症疾患
- 筋骨格系疾患（ロコモティブシンドローム）
- 加齢による疾患

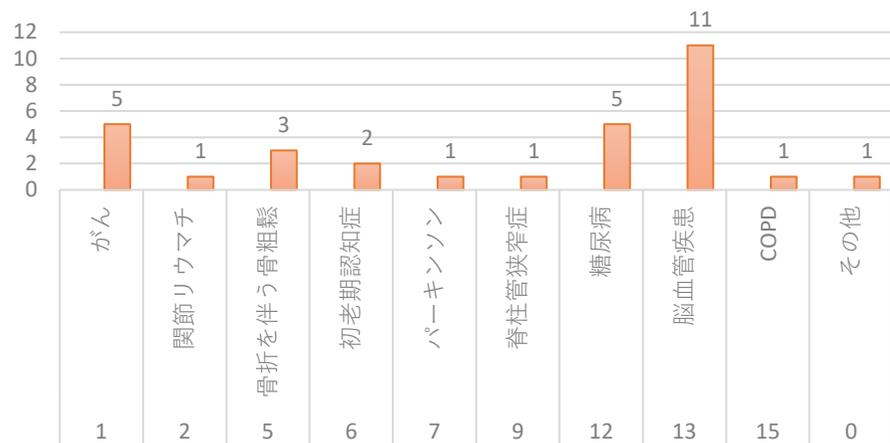


生活習慣病詳細

- 本態性（原発性）高血圧症
- 脳血管疾患
- 糖尿病
- 心血管疾患（心不全）
- 高脂血症
- 慢性腎臓病



2号被保険者主病名



2号被保険者とは、40歳以上65歳未満の医療保険加入者のことです。

2号被保険者で要介護認定を受けている方の病名分析を行った結果、すべて2号特定疾患ですが、上位は、「脳血管疾患」「がん」「糖尿病」です。生活習慣病がリスク要因となっている疾病である可能性があります。「脳血管疾患」の代表疾患は脳卒中です。脳卒中の原因としてあげられる要因の一つは動脈硬化です。

動脈硬化の原因疾患は**高血圧**であり、高血圧を放置していることにより、血管が傷ついたり、血液の粘り気が強く血液がどろどろになる可能性も高くなります。高血圧が慢性化すると完治は難しくなり、血管が老朽化します。老朽化することで動脈硬化にもつながります。

動脈硬化になることで、その後、脳卒中や心臓病、糖尿病合併症（腎不全）などの命にかかわる危険な病気にかかる危険性があります！！

高血圧

血管への負担
血管の損傷

動脈硬化

脳卒中
心臓病
糖尿病性腎症

重症化疾患

- ・心不全（心不全・心房細動）
- ・脳卒中（脳梗塞・脳梗塞続発）
- ・慢性腎不全（慢性腎臓病）
- ・認知症（詳細不明認知症・アルツハイマー病）

心不全に対する
基礎疾患のオッズ比

高血圧：1.62

脳卒中に対する
基礎疾患のオッズ比

糖尿病・高血圧：1.15
糖尿病・脂質異常症：2.77
糖尿病・高血圧・脂質異常症：1.45

慢性腎不全に対する
基礎疾患のオッズ比

糖尿病：1.00
糖尿病・高血圧・脂質異常症：1.89

重症化疾患と基礎疾患の組み合わせ

重症化疾患に遷延しやすい基礎疾患

認知症に対する
基礎疾患のオッズ比

糖尿病：1.61
高血圧：1.49
糖尿病・高血圧：1.06

重症化疾患について、高血圧あるいは高血圧を含む基礎疾患の重複状況のオッズ比が1を上回っています。

オッズ比とは、統計学における事象の起こりやすさを表す指標のこと。指標が1より大きいと事象が起こりやすく、小さいと起こりにくいとされている。